

下地町内会防災マップについて

令和3年3月に、町内会すべての世帯へ、「下地町内会防災マップ」を配布しました。

この防災マップは、令和元年6月の、町内会幹部で地域の災害リスクを共有する会議からはじまり、土砂災害危険区域のある3班、17班、20班の班長さんを含めた「防災プロジェクトチーム」を結成し、会議や、実際に危険個所を歩いてチェックする防災ウォーク等を経て、広島市防災まちづくり基金を活用させていただき、2年越しで出来上がったものです。

この間、行政の防災に関する対応方法やハザードマップの変更があり、以前の防災システムとは、異なったものに変更になりました。変更点につきましては、下地かわら版の1ページ全部を使いまして、「広島市のハザードマップの変更点と災害アプリ「避難所へGo！」」で、すでにお知らせしていますが、今後も、この「下地町内会防災マップ」を使って、小規模な勉強会のような形で、防災に対する正しい知識をお伝えしていきたいと考えています。

下地町内会における防災の重要ポイント

1. 防災の基本は、「自分の命は、自分で守る」ということです。（自助が基本）

- ① その為には、自分たちが、どのような災害リスクの中で暮らしているか？を知っておくことが重要です。（事前にリスクを把握しておく）
- ② そして、災害の危険が近づいた時には、素早く、災害に関する情報を掴むことが必要です。（災害情報を掴む）
- ③ 危険と判断したら、避難行動に移す。（行動に移す）

2. 下地地区の災害リスク

下地地区の最大の災害リスクは、「土砂災害」です。

土砂災害危険区域にある世帯が、3班、17～20班を中心に、約60世帯が該当します。（必ず、自分の家が、土砂災害危険区域に含まれていないか？確認ください。）

安川の氾濫による浸水想定地域はありません。→ 洪水のリスクはありません。

地震のリスク→最大震度6弱で、1981年以降の建物の全壊リスクは、ほぼゼロ。

3. 避難すべき人と避難場所

避難すべき人は、土砂災害危険区域にいる人で、全員ではありません。

避難場所は、① 安全な地域にある知人宅、親戚宅等

② 指定緊急避難場所（伴東小学校・安佐南区スポーツセンター他）

③ 自宅内のより安全な場所（2階や、崖と反対側の壁のあるところ等）

下地町内会 作成